

OSAKA

かいなん

議会だより

あわてず避難
できました！

中央保育園（避難訓練）

第1回定例会

平成26年度予算審議など・・・・・・・・・・P2～6

討論・審議結果など・・・・・・・・・・P7～8

これが聞きたいねん 議員の質問・・・・・・・・・・P9～15

シリーズ人 阪上 勝彦さん・・・・・・・・・・P16

2014.6 No.123

発行責任者／河南町議会 議長 浅岡 幸晴

かなんまちづくり基本条例 が制定されました！



平成 26 年第 1 回定例会は、2 月 14 日から 3 月 5 日までの会期で開催しました。

平成 26 年度の各会計当初予算は、当初予算特別委員会を設置し慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。そのほか、条例の一部改正や補正予算などが提出され、それぞれ審議が行われました。

一般質問では、7 人の議員が町政全般について活発な議論を行いました。

町長の開会挨拶、要旨

現任期で最終議会となり、2 期目の 4 年間「改革と創造」を実現するため、鋭意取り組んできた。

「子どもを産み、育て、次代を担う子どもたちを育てることができるよう子育てセンターを中心に支援に取り組む。」

に、基本合意書の締結。

平成 26 年度当初予算は、総計予算主義の原則から任期の関係上骨格予算として人件費、公債費、扶助費のほか維持管理など経常的な経費、継続的な事業を中心に新たな施策、制度の拡充や拡大を図るものは極力抑え、住民生活安定のための事業、急を要する事業を予算化した。

子ども医療費助成、4 歳・5 歳児を対象に幼児の英語教育を実施。

地域公共交通の充実。大宝地区 1・4・5 丁目の下水道長寿命化計画の策定。

「一人ひとりが輝くまちづくり」

高齢者が地域で生き生きと安心して暮らすことができるように、地域包括センターを中心に介護予防事業や生きがいづくり、ひとり暮らし対策に努める。

市へ委託。

国際交流の推進で、中学生の海外学習事業の実施。近隣市町村の利用促進を図るため、スポーツ施設の予約システム導入。

「子どもたちの笑顔あふ

「美しい水とみどり豊かなにぎわいのあるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「美しい水とみどり豊かなにぎわいのあるまちづくり」

「美しい水とみどり豊かなにぎわいのあるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

「安全で安心して暮らせるまちづくり」



予算総額 97億1,645万円

総括

やらなければならぬ最低限のことを今回の予算に計上している。

問 広域常備消防組合が破綻となった中、なぜ河南町消防署の消防救急業務を富田林市に委託されるのか。河南町と富田林市と対等に合併する方法も考えなかったのか。

答 破綻ではなく、休止の状態である。消防組合結成の考えもあったが、太子、千早が委託している事情もあり困難であると考ええる。

問 地域公共交通検討会議に金剛バスが参加していない状態で議論を続けていくのか。

答 金剛バスには参加をお願いしている。議論を進めていけば、最終的には理解し、協力してもらえると思われている。

問 どのような考えのもとでの平成26年度当初予算か。

答 骨格予算ということである。任期の関係上、

問 今後、町税の増収が見込めるのか。

答 景気回復による増収はまだ見込めないが、大手スーパーの進出などによる若干の改善が見込まれる。

一般会計予算の債務負担行為、地方債及び歳入

問 歳入額を増やすために各施設の使用料を値上げする考えはあるのか。

答 スポーツ施設の利用料はこのまま据え置きと考える。住民部担当の住民票関係についても今のところ値上げは考えてない。

問 禁煙者が増える中、たばこ税が24年度決算額より多いのはなぜか。

答 25年度から府のたばこ税の一部が町へ税源移譲されたため、平成25年度の決算見込みで約1億円前後の歳入見込みがある。

る。

問 スーパーの出店で、直接的な町に対する収入はどれくらい見込まれているのか。

答 調査していないので、詳細についてまだ確定していないが、27年度から固定資産税などで増収になると見込まれる。

問 社会福祉協議会と町とがスムーズに連携できるように、町職員を配置してはどうか。

答 町として財政状況を整えながら、どこまでのことをやるべきかを引き続き検討していきたい。

問 個人町民税の滞納分の徴収を今後どうするのか。

答 滞納額を減らすために積極的に滞納処分などを進めているが今後さらに減額になるように努力していく。

問 幼稚園と比べ高すぎる保育園の保育料についてどのような考え、今後どのような対策を講じるのか。

のか。

答 国の保育料の基準をもとに保育料を定めている。給食費もこの中に含まれている。子どもの年齢により職員の配置基準も違い、人件費もかなり必要になる。

人件費
13億7196万円

問 一般行政職の2級について、高度な知識または経験とは具体的にどういうことか。

答 高度な知識とは、最初新卒で入り、経験を積んで高度になり2級になるということである。

問 初任給は国の基準より高いが、ラスパイレス指数の数字は96.7%である。どの段階から逆転するのか。

答 人材の確保が難しいため、初任給に関しては国の基準より若干高く設定している。国とは昇格、昇給の制度が違うため、個人差もあるが40歳頃には逆転していくと思われる。

問 庁内での昇級試験はどういうものなのか。全員受けているのか。

答 在職3年以上で、前歴を含めて通算5年以上の期間を有する人が最初の昇級試験の受験資格を有する。昇級試験は、全員受験してもらうが、まだ受験していない人もいる。

問 一般職員の定数は145名。消防署職員が富田林市の職員となった場合、定数は減るのか。

答 消防署職員の定数は減る。

議会費
1億1281万円

総務費
6億5980万円

ESCO「エスコ」事業とは何か。

答 おおむねエネルギーの削減を見込んだ建物の設備等の改修に係る企画、

設計、施工、維持管理を包括的に行う事業のことである。

問 広報板設置工事18万3000円とはどういった広報板の予算か。

答 町内に広報板98カ所あり、毎年4カ所程度の修繕を行っている。地区からの要望等で新設1カ所を予算計上した。

問 毎年しないといけないような非常用発電機設備点検とか照明制御板保守点検の委託料がなぜ抜けているのか。

答 非常用電源の点検に關しては、消防設備点検委託料に統合し点検している。照明の点検は2年に1度の点検で25年度に点検をしたので26年度はない。

問 ホームページのシステム保守料が増えているのは。

答 スマートフォンに対応し、アプリと連動したホームページにリニューアルしている。その委託

料が増額になっている。

問 電動自転車は財産管理されているのか。

答 かなんぴあやぶくぶくドームにも常時貸し出ししている。残りの台数を庁舎に備えている。

問 交通対策費の啓発物品は今の時代に合うような物品を作っているのか。

答 具体的に「交差点注意」「飛び出し注意」等の電柱幕やその事態に応じたものを作成し、地区に配布している。

問 工業統計調査、農林業センサス、経済センサスはどのような調査か。

答 工業統計調査は、製造業を営む事業者を対象とする調査である。また、農林業センサスは、食料、農業、農村基本計画及び森林、林業基本計画に基づく諸施策や農林業に関する統計調査に必要な基礎資料の整備を目的とする。

問 かなんフェスの開催時期、場所は恒例で決ま

っているのか。

答 過去5回開催しているうち、近つ飛鳥博物館が2回、かなんぴあが2回、ぶくぶくドームが1回で時期も違う。毎年実行委員会の企画部会で検討している。時期と場所とは決めていく方向にしたい。

問 職員の健康管理に関する項目はあるのか。

答 正職員、嘱託職員等一般的な健康診査を年一回と、必要な年齢に応じた検診等を実施している。心のケアを目的としたメンタルヘルス研修を毎年実施している。

民生費
17億96万円

問 ひとり親家庭医療助成費における『ひとり親』の定義は、未婚のひとり親の場合も含まれているのか。

答 この場合、離婚や死別以外に一度も結婚していない方も含まれる。

問 コミュニティソーシャルワーカー委託料580万円とあるが、業務内容と人数は。

答 これは、本町から社会福祉協議会に委託し社会福祉士の資格を持った者が要援護者や自立支援の方に支援を行うもので、相談対応・必要なサービスの案内・申請等の実施などである。現在の人数は1名である。

衛生費
5億2623万円

問 昨年度同様、水質検査・土壌検査費が計上されているが、検査場所はどのような箇所を考えているのか。

答 水質検査については、データ管理上、例年同じ場所で行っている。また、土壌調査については、現在行われている埋立地、約5箇所について予定している。

問 健康づくり対策事業として、個人ICカード

化の取り組みを考えているのか。

答 全国的なICカード化の進捗状況を調査の上、導入を考えていきたい。

労働費
21万円

農林水産業費
6893万円

問 青年就農給付金は昨年と同額となっているが、応募者が増えた場合の対応は、どのように考えているのか。

答 現在、町内で対象者は2人となっているが、今後、計画をもとに申請が届き、対象者と認められれば同様（1人あたり150万円を限度）の対応を行っている。

商工費
2226万円

問 かなんブランド商品開発事業補助金の実績は。

答 平成25年度に1件の申請があり、認証されて

いる。内容は、ろうそくにかなんブランドのロゴマークを付け商品化したものである。販売は道の駅でされている。

土木費
3億1084万円



消防費
2億1058万円

問 消防の富田林市への委託により、本町現消防職員の給与の変動は生じないのか。

答 基本、現給保障ということで、おおむね変動は無いものと考えている。

教育費
8億6665万円

問 中学生の海外研修が予定されているが、どのような効果を見込んでいるのか。

答 異文化体験とコミュニケーション能力の強化を目的としている。研修後すぐに語学力がアップすると考えていない。

問 海外研修は以前も実施されていたが、中止になった理由は。

答 応募者が減っていたこと、個人負担が3割だったので個人給付的な意味合いが大きかったため、中止になった。

問 中止の理由となった問題は解消したのか。

答 一年間の研究期間を設け、長く続けられるよう検討を重ねた。

問 現地でのホームステイが望ましい形ではないのか。

答 アレルギー対応や送迎面での問題がある。

問 寛弘寺古墳、金山古墳の清掃は業者に委託するのか、地区の住民に委託するのか。

答 清掃について、寛弘寺古墳公園は寛弘寺地区に、金山古墳公園は高年者人材センターに委託している。草刈りは業者に委託しているが、地区住民に余力があれば、草刈りも委託したい。

問 夏休み期間にかなりおのプールを開放しているが、町内の学校のプールで代替できないのか。

答 不特定多数の参加を想定すれば、施設の改修が必要となり、危機管理面でも課題がある。

問 学校給食ではアレルギー対応として、食器・器具類に対しても配慮されているのか。

答 建設中の給食センターではアレルギー対応、特別調理室分として別枠

で購入する予定である。



問 小学校の灯油代が足りないのか、子ども達から毎日寒いと声が上がっている。学習環境の整備に不備があるのではないのか。

答 灯油の必要量は前年度の実績をもとに予算を立てている。途中で足りなくなれば対応する。

問 いじめ問題への対策として、各学校でマニュアル作りを進めているが、どのようなものを作っているのか。

答 いじめが発生した時に、学校の中で隠ぺいしてしまうということがないよう、いじめの原因を発見し対策していくというようなマニュアルである。

問 マニュアルにはネット上のいじめへの対策も含んでいるのか。

答 含んでいる。

要望 「いじめ対策」とわかる名目で予算計上すれば、本腰を入れて取り組む姿勢をアピールできる。

て、関係者の意識も高まる。そういう形で進めてほしい。

問 学校の統廃合により、学校数が減っているが、教育委員の人数は減らないのか。

答 減らす考えはない。

公債費
6億3883万円

予備費
1000万円

問 一般被保険者での国民健康保険において低所得者世帯で保険料を免除されたのは、何世帯あったのか。

答 見込み数では7割軽減が943人、5割軽減が558人、2割軽減が670人である。

問 負担ゼロという形をとる考えは。

答 被保険者に相応の負担をしてもらい、その負

担額の中でやりくりするのが原則である。

問 不納欠損に対する対策は。

答 財産調査をして、公平負担の原則に立って徴収を進めている。

問 葬祭費が現在5万円であるが、富田林の斎場を利用すると、10万円かかる。もう5万円アップできないのか。

答 大阪府下でも高い水準で支払っている。これ以上の引き上げは現在考えていない。

要望 一般被保険者の医療費は増加傾向にある。抑制策として個々で管理するような健康カードの導入を。

後期高齢者医療特別会計
20億2040万円

問 年金で生活されている方にとって、負担が大きすぎる。現在の減免対策をより充実できないか。

答 国の政令どおり運営していきたい。

介護保険特別会計
13億5935万円

問 社会福祉士の報酬が
昨年度と比較すると
199万円からアップし
ているが、要因は。

答 報酬条例の見直しに
よるものである。

問 紙おむつ給付の予算
が減っている要因は。

答 要綱改正により、給
付対象者が減ったため。

問 総合相談事業費では
どのような相談を受けて、
誰が対応しているのか。

答 介護の相談、介護保
険の利用方法、虐待や施
設の紹介など、多岐にわ
たる。正規職員が対応し
ている。

問 保健師の数が足りな
い。各地区に担当1人設
けることはできないのか。

答 各地区に1人となる
と、5人の保健師が必要
であり、人件費が大き
くなるため、難しい。

下水道事業特別会計
4億8776万円

土地取得特別会計
143万円

簡易水道事業特別会計
972万円

水道事業会計予算
5億882万円

問 広域水道企業団にな
った場合は。

答 町の職員よりも高度
な技術や経験がある企
業団職員に施工を任せ
ることができ。金額に
ついては一概に安くな
るとはいえない。

水道事業を企業団に
せると、経営収支は負
も資産も全て企業団に
渡すことになる。

■平成 26 年度 会計別の当初予算

会 計 名				予 算 額	対前年度増減率
一 般 会 計				51億2,812万円	▲ 2.4 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計			20億85万円	▲ 0.8 %
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計			2億2,040万円	6.9%
	介 護 保 険 特 別 会 計			13億5,935万円	2.4%
	下 水 道 事 業 特 別 会 計			4億8,776万円	▲ 21.9%
	土 地 取 得 特 別 会 計			143万円	1.7%
	簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計			972万円	▲ 12.3%
水 道 事 業 会 計		収 益 的	収 入	4億720万円	16.6%
			支 出	3億9,943万円	13.8%
		資 本 的	収 入	3,707万円	▲ 66.0%
			支 出	1億939万円	▲ 58.9%
予 算 総 額				97億1645万円	▲ 3.4%

■平成 26 年度の主な事業

事 業 名	金 額	内 容
人権啓発事業	283万円	人権講演会、啓発チラシ作成ほか
英語青年招致事業	451万円	中学校英語指導
小学校における英語・国際理解教育推進事業	933万円	各小学校英語指導
中学生海外学習事業	355万円	中学生海外学習（シンガポール）
公民館図書室図書充実事業	328万円	図書購入、図書目録貸借 等
子ども医療助成事業	4,385万円	対象 中学校修了前（入院・通院）ほか
子育てセンター事業	767万円	子育て親子の交流の場の提供
子育て一時預かり事業	597万円	就学前児童一時預かり事業（かなんぴあ）
母子健康事業	1,830万円	健康診査、各種教室、講演会ほか
中学校体育館整備事業	2億4,486万円	体育館整備工事及び備品購入等
学校給食センター整備事業	4,690万円	給食センター整備工事及び備品購入等
障がい者自立支援給付等事業	1億6,800万円	介護給付、訓練等給付
総合保健福祉センター改修事業	7,850万円	農村環境改善センター浴場設置工事他
地域公共交通調査検討事業	459万円	地域公共交通検討会議開催
公共下水道汚水整備事業	9,530万円	下水道整備
ごみ減量対策事業	2,815万円	集団回収奨励、資源ごみの分別収集ほか
青年就農給付金交付事業	300万円	青年の就農意欲喚起、就農定着化
かなんフェス開催事業	150万円	かなんフェス開催事業助成

賛成

討論

反対

河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

《反対討論》

【福田議員】

消費税増税や国民年金、厚生年金の支給額の削減等で、今後ますます低所得者や高齢者にとって苦しい生活が待っている。財源が乏しい市町村では低所得者の保険料をさらに減免、免除できるが、そうすると他の所得者の保険料が上がるため出来ない状況である。国が高所得者の負担を上げる抜本的な社会保険保障制度改革をしないままでは、同意できない。

《賛成討論》

【野村議員】

今回の改正は、国の政令の趣旨に沿ったものであり、保険料の限度額の引き上げは中間所得層の負担軽減に繋がり、低所得者層においても保険料軽減の対象世帯の拡大を図るものである。

各議員の審議結果（○＝賛成 ●＝反対 ／＝審議不参加 ―＝議長）

■平成 26 年第 1 回定例会

件 名	審議結果	浅岡正広	佐々木希絵	浅岡幸晴	中川博	田中慶一	野村守	廣谷武	福田太郎	力武清	村元保男	杉本孝	小山彬夫
かなんまちづくり基本条例制定	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の全部を改正する条例制定	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の一部改正	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防手数料徴収条例の一部改正	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度一般会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	／	／
平成 26 年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度下水道事業特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度土地取得特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度水道事業会計予算	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	―	○	○	○	○	●	○	○	○	○
平成 25 年度一般会計補正予算（第 4 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度土地取得特別会計予算（第 1 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度一般会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	―	○	○	○	○	●	●	○	○	○
町立学校給食センター新築工事の工事請負変更契約	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農村活性化センター指定管理者の指定	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解及び損害賠償の額の決定	可決	○	○	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○

かなんまちづくり基本条例制定

問 住民参画のまちづくりを推進していくには受け皿をつくる必要がある。その点での考えは。

答 あくまで基本的なルールを定めるもので、アンケート、モニターなどの制度を発展させていきたい。

問 参画をより積極的にするため要綱を作るべきと思うが。

答 要綱を定めることは考えていない。

問 多様な住民参画の仕組みの整備に努めるには今後、どう整備されるのか。

答 参画する機会を保障するというのが原則。住民が意見を述べるようなあらゆる方策を検討していくのがこの条例の基本である。

問 定義で「町」とは。

答 町長と他の執行機関を含む町部局である。



税条例の全部を改正する条例制定

※質疑なし

税条例の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定

※質疑なし

税条例の一部改正

※質疑なし

消防手数料徴収条例の一部改正

※質疑なし

河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議

※質疑なし

平成26年度土地開発公社事業計画・予算・資金計画

事業計画の用地の取得ゼロ、用地の処分ゼロになっている。何も動きがないのに鑑定料、電話料53万円が計上されている。どう理解すれば。

答 準備のための予算。

国民健康保険条例の一部改正

問 賦課限度額の引き上げにより、保険料が賦課限度額に達する世帯数は。

答 支援金等分では170世帯が110世帯に、介護分では、80世帯が50世帯となる。

問 保険料の軽減の対象

世帯の拡大は応能割を考慮するべきでは。

答 今回の拡大は応益割に係る法定軽減の内、2割軽減、5割軽減を対象としたものである。

平成25年度一般会計補正予算

問 教育子育て基金の5千万円を一般会計に繰り入れることは。

答 全体の事業費7億5千万円程度の内、残りの5千万円を繰り入れることになる。

平成25年度国民健康保険特別会計補正予算

※質疑なし

後期高齢者医療特別会計補正予算

問 広域連合議会で大阪府後期高齢者医療財政安定化基金を活用して、保険料の抑制を求める意見書が議決されたが、市町村の意見が広域連合に反映できるシステムになっ

ているのか。

答 担当者会議、部課長会議等において意見を述べる場が設けられている。議員の皆さんから出た意見については反映するようにしたい。

平成25年度介護保険特別会計補正予算

※質疑なし

平成25年度下水道事業特別会計補正予算

※質疑なし

平成25年度土地取得特別会計補正予算

※質疑なし

平成25年度簡易水道特別会計補正予算

※質疑なし

平成25年度水道事業会計補正予算

※質疑なし

平成26年度一般会計補正予算

※質疑なし

和解及び損害賠償の額の決定



農 村 活 性 化 セ ン タ ー

※質疑なし

農村活性化センター指定管理者の指定

※質疑なし

町立学校給食センター新築工事の工事請負変更契約

※質疑なし



浅岡 正広議員

問

通行量の増加対策は？

答

啓発・注意喚起にて対応

問 本町南の玄関口とも言われる地区の大型スーパー開店に伴い、懸念される道路状況について問う。

現在、一部地区を除く河内地区の住民の大半は、

府道上河内富田林線（白木バイパス）を生活道路として利用しているが、一部利便性から町道上河内馬谷線を利用する住民

道上前馬谷線を利用する車両が多くなると考えられるが、そのための対策は。

答 大型スーパー出店に伴い、利用が多くなると

懸念される町道上河内馬

谷線の対策として、路面表示や交通安全啓発用物品（立て看板等）により

注意喚起を図りたいと考えている。

要望 現在、町道上河内

馬谷線には、所轄警察と関係地区名や近隣事業者の厚意により啓発看板が設置されているが、危険なＴ字路や交差点も見受けられるので、本町としての早期の対応を要望する。

また、それらをハード

面から解消できると考えられる河南中部ほ場整備計画についても引き続きの取り組みを重ねて要望する。

関連質問

○さくら坂地区内の舗装改良について

通学路の安全確保は？

問 これまで機会がある

度、町内児童・生徒の通学路の安全確保についての質問・要望・提案を繰り返し行ってきた。中でも京都府福知山市の無謀な無免許運転死亡事故を受け、平成24年度に本町が行った緊急合同点検の結果から得た町内14の危険箇所の対応は進んで

いるのか。

答 各小学校区別、白木（5箇所）、河内（2箇所）、中（4箇所）、近つ飛鳥（3箇所）であるが、

全体に対応は進んでいる。信号機改良など条件等を満たしていないため、信号機設置が期待できない

場所については、現在啓発看板等で対応を行っている。

今後も、関係機関との協力のもと、その他の危険箇所も同様に改善に努めたいと考える。

要望 改良が進んでいる

とのことだが、地形や条件等により改良困難とされる場所もいくつかあった。

それらを学校・保護者を通じて児童に分かりやすく伝え、また青色防犯パトロールや子供見守り隊など地域の方々にも危険箇所の周知をしていた

だき、協力を得て、新1年生を含む児童たちへのより一層の安全確保を要望する。



新たに設置された注意看板



改良が進む通学路



佐々木 希絵議員

問 P T A入会意志の確認は

答 今後、意思確認は必要



問 憲法第21条「結社の自由」には自分の望まない団体に加入しなくてよいという「結社しない自由」も保障されている。したがって、PTAへの強制加入・自動加入は憲法学者によると、違憲行為といえる。河南町内の小中学校では入会申込書などで、入会意志を確認する機会があるのか。

答 加入・非加入の意思表示を行っている学校はない。

やまなみバスは適正に運行しているのか

問 現在の自動入会というシステムには個人情報保護の観点で見ても、問題が多い。加入・非加入の意思表示をする機会を設ける必要がある。

答 入会の意思確認は必要。親がPTAに加入しないとか、活動しないという理由で特定の児童・生徒を差別することはあってはならない。

民間主催のイベントも広報しては

問 やまなみバスの時刻表や広報なんのやまなみバスに関する記事で、「送りコースについては迎えコースの逆コースで運行します」と記載されている。先日、逆コースで運行していないバスに乗車したのだが。

答 時刻表や広報紙は各バス停での乗降が可能であるかのような誤解を招く内容があった。広報4月号にお詫びと訂正記事を掲載する。

問 町幹部が誰もバスの動きを把握していなかったのは問題である。町内すべての指定管理施設において、部長らの認識と事実が異なることがあるのではないのか。

答 コナミスポーツと町との間の認識のずれが問題に繋がっている。町幹部が実態を把握していなかったことは遺憾である。

小学校30人学級

問 富田林では、市内で行われる民間主催の非営利イベントの告知を広報誌で掲載している。主催者と参加者にとってメリットの大きい取り組みである。河南町では取り組みしないのか。

答 イベントの種類が多く、慎重に判断しなければならぬ。紙面の都合もあるので、現行の基準でいく。



問 小学校3校の統合が予定されている。統合すれば、1クラスあたりの児童数が増えると懸念の声がある。30人学級に関する町の姿勢は。

答 30人学級を実現するためには、教室増築費用で8000万円、人件費で2000万円／年必要である。第二期の小中学校問題を考える上で、学級編成に関する国・府の動き、予算面を検討したい。



中川 博議員

問

消防団への職員の入団は

答

慎重に検討していきたい

問 昨年12月地域防災力強化法（消防団支援法）が成立し、施行された。

今後さらに地方交付税措置・地方財政措置の大幅な増加が見込まれる。

河南町の対応は。

答

退職報奨金の5万円の上積みは条例改正を行う。

その他消防団への処遇、装備、設備については、今後の現状を調査し、消防団の強化に対応する。



消防出初式

河南町の施策について

問 平成26年度地方財政計画のポイントは、

① 一般財源総額は前年度を相当程度上回る点。

② 特別枠、交付税の別枠等必要額は確保された点。

③ 緊急防災・減災対策費、元気創造事業は、増額確保された点である。

河南町の対応は。

答 国の地方財政対策に応じ所要の措置を行いたい。

社会保障の充実分は、国に応じた対応をしたい。少子化対策は、子ども医療費の助成、妊婦健診や保育園の受け入れ等に充当します。

緊急防災・減災対策は六月の補正の段階で検討していく。

要望 しっかりとした計画を立て予算の執行をお願いする。

住民サービスの向上について

問 近年、活字離れが指摘される中、住民に読書に親しんでもらう取り組みとして、読書通帳を導入する取り組みが各地で見え始めている。富山県立山町では、小学生を中心に登録者が600名を超え、読書意欲をかき立て高い効果が期待されている。

河南町として取り組みはするののか。



答 現在、図書室の利用者数、貸し出し冊数とも減少傾向にある。まず、手書きで記帳する通帳を導入したいと思う。本格的な読書通帳は、研究していきたい。

教育委員会としても、子供たちの読書意欲を高め、国語力・読解力の向上につなげたいと考えている。

ふるさとづくりについて

ふるさととは、生ま

れ育った場所だけではなく。自分のよりどころとなる心を寄せる安らぎの場をさす。国でもガイドブック作成等に力を入れている。

河南町における地域振興、地域活性化に資する政策ではないかと思うが対応は。

答 国の動向を留意し、ガイドブックにあるようなまちづくりを進めていきたいと考えている。今後とも参考にし、頑張っていきたいと考える。



野村
守議員

問 体育施設予約システム

答 平成 27 年 1 月、実施予定



問 去年 4 月から実施された 2 町 1 村 3 市、河南町・太子町・千早赤阪村・富田林市・河内長野市・大阪狭山市において体育施設が相互利用出来るようになりスポーツ施設を利用される皆様の利便性が向上し、また近隣のスポーツを愛する皆様のコミュニケーションにも繋がっていると考える。今年度事業としてパソコン等を用いた予約システムを導入されるが実施時期はいつからか。

答 平成 27 年 1 月に実施の予定。予約方法としてパソコン・スマートフォン・携帯電話等からアクセスし画面に沿って操作する。

問 利用料の支払い方法は。事前登録は必要か。

答 システム導入後は指定口座より後日振り替えでの支払いとなる。この予約システムの利用については事前にそれぞれの市町村の窓口において利用

登録、個人名又は団体名その他、住所連絡先など手続きが必要である。

問 パソコンを持たない方、パソコン操作が不慣れな方への対応は。

答 パソコンをお持ちでない方への対応として総合体育館内にシステムの端末機を設置し、利用いただく。パソコン操作が不慣れな方への対応は、従前通り窓口において紙ベースで予約し職員においてシステム入力を行う予定。

新給食センター

意見 各体育施設で春夏の大会等、年間スケジュールで様々な競技が開催されているので河南町の住民の皆様の利用に支障が無い様なシステム作りをお願いする。

問 新給食センターの運営費、食数、工事進捗状況は。

答 運営費は職員の人件



新学校給食センター建設現場

費で 2000 万円。燃料費で 270 万円。光熱費の電気、水道、下水道料金で 1150 万円。調理、配送、配膳業務の委託料として 6000 万円。電気設備点検業務、保守点検業務等で 260 万円。その他事務経費で 260 万円。合計すると概ね、年間 1 億円の運営費が必要。食数については幼稚園 2 園で 140 食。小学校 4 校で 870 食。中学校で 470 食の合計 1480 食に教職員も含めて

1550 食の予定。工事進捗状況は 4 月中旬には 1 階部分がほぼ仕上がり建物自体は 6 月末に全て完了する予定。

問 食物アレルギーに対する業者指導及び対策は。

答 新給食センターには食物アレルギーに対応するため特別調理室を設け、調理器具、汁器類も分離して対応する。またアレルギー対応マニュアルを作成する。



廣谷 武議員

問 キャンプ場を開設しては

答 町の活性化策として検討

問 町の普通財産の有効活用として、東山の町有地1530㎡をキャンプ場として町営で開設してはどうか。そうすることにより、災害時に備え、電気を使わない生活を子

どもたちに体験してもらう災害教育にも使用できる。また、災害備蓄品の正常作動や賞味期限等の点検や、災害発生時の初動体制の確認等に、大変役立つ施設になり、外部

からの集客にもつながり、町の活性化にも有効な施策ではないか。

答 町有地の有効利用として、キャンプ場を開設してはとの提案は、キャンプに使用する食材を災害備蓄品の消費、定期的な備蓄品の点検や更新、子どもたちの防災教育等、南海トラフ巨大地震の対策としても、防災意識の向上に役立ち、また、外部からの集客という観点では、町の活性化にもつながる一石三鳥の施策ではないかと思われるので、今後検討を行いたい。

小学校・中学校の制服について

問 小・中学校それぞれ

の、夏冬の制服・体操服・靴・かばん等の購入金額はいくらかかるのか。

答 小学校の男子で3万6000円程度、女子で3万9000円程度、中学校の男子で7万2000円程度、女子で9万2000円程度の金額がそれぞれ必要である。

問 衣類等の値段は、最近の量販店等では、大変安価になっている。国や自治体では、クールビズやウォームビズを推奨し、機能を優先する傾向にもある。制服の改善は過去1度きりで、業者の企業努力により制服が家庭で丸洗いできるようになっただけで、この50年間、学生目線での改善は1度

答 制服等は統一規格ではなく、他校との区別を図るため微妙に違い、大量生産ができない。また、継続して同じ商品が購入できないといけない、各サイズ品切れが許されない、年度途中の買い替え等にも対応できなければならぬ等の事情もあり、現在の形態となっている。

問 健康管理を行う人が増えていく昨今、防災無線でラジオ体操を流し、町民全体の健康意識の向上に役立ててはどうか。

答 現在、防災無線の動作確認と町民への情報提供のため、定時放送を行っているが、今後ラジオ体操も含め、区長会等と協議していきたい。



役場庁舎無線室

防災放送の活用について

が、議員の意見は学校側に伝える。

問 健康管理を行う人が増えていく昨今、防災無線でラジオ体操を流し、町民全体の健康意識の向上に役立ててはどうか。



福田 太郎議員

問 新・行政改革について

答 効果的な行財政運営へ



役 場 庁 舎

問 河南町庁内組織の簡素化について、現在の各課の課長を頭に各課グループ制を取り入れ、課の理事の役職を廃止し各課職務を統括する統括部長1人にするにより、計4名の部長での配置で済む。

これぞ組織簡素化への取り組みと考えるが。

答 庁内組織の簡素化は職員のモチベーションに関わる要素があり、職場の環境がクリーンで風通

しが良く、ストレスが溜まらない等の環境が関係する。キャリアアップの仕組みも大きなモチベーションの一つの材料である。

そういうモチベーションの観点からも提示された庁内組織の簡素化において、考えられないことはないが町としては選択しない。

問 新行政改革案において、再度、町単独（単費）の各団体・各種事業への

補助金を精査され、「削減と廃止」に取り組むべきでは。

答 各種団体への団体の活動や補助金内容を精査、検討していきたい。

町住民の「安全・安心・安住」に向けて

問 富田林市との河南町消防本部の委託に向けた話し合いを中断し、休止をしていただきたい。

その理由は、現在の河南町消防本部の設立においては、町住民皆様の大切な税金から多額な負担と協力を頂き、この十四年間河南町消防本部の運営をして来た。

そして、消防職員もこの間、町住民の生命、財産を守るために消防、救急業務や救急救命士を育成し「安全・安心」に向けて頑張ってきた。

また、町住民にとって尊い財産であり、価値ある河南町消防本部（署）である。



消 防 署

この事をよく噛みしめて頂き、六月への調印作業を直ちに休止するべきでは。

答 河南町消防本部を運営するリーダーの消防長がこのまま行くと限界と言っている訳です。理解を頂いて賛同をお願いしたい。

問 我が町の公共交通機関の交通弱者の高齢者、子供たちが安心して暮らしやすいするために、昨年、さくら坂・鈴美台の住民が試行的に実施した

さくらバスの巡回運行の運行工程や運行時間帯などを参考にし、やまなみバス運行を指定管理者から外し、以前のように町直営でやまなみバス運行をすることで、この問題を解消できるのではないか。

答 河南町地域公共交通検討会議において、現状の課題の把握、今後の方向性なども踏まえ、やまなみバスの再編についても検討している。



力武 清議員

猫の不妊手術費用復活を

再度補助制度は困難

問 犬、猫などの苦情、相談の実態は。

答 特に猫は、鳴き声や糞尿の苦情、敷地内に入るのを防ぐ方法など。

問 環境省作成の犬猫ガイドブックの活用は。

答 活用していない。

問 地域猫に関しての留意識は。

答 専門的なノウハウがなく、施策を実施するのは難しい。

問 地域猫活動の取り組み

みを行うべき。

答 体制的に難しい。

問 自主的グループへの協力の呼びかけを。

答 協力は難しい。

問 平成13年から23年間

不妊手術費用の一部を改正する条例の制定について助成されていた。廃止した理由は。

答 行政改革における補助金見直しによる。

夏休みプール開放について

問 昨年実施された「かなんぴあ」プールの開放4日間の利用数は。

答 4日間の延べ利用数は838人、1日あたり209人。

問 監視体制は。

答 総数6名で、常時4

人体制で監視台2名、プールサイドの巡回2名。

問 取り組まれた結果、評価と課題は。

答 町立プール廃止後の代替措置として、十分ではないが、一定の役割を果たした。

問 かなんぴあの開放は物理的に4日間しかできない。小学校プールの開放を求める。

答 施設の段差解消、更衣室の整備等改修費用が

かかり、危機管理面でリスクも高く、課題も多い。

問 大阪狭山市では小学校プール開放を行っている。

答 スポーツ基本法で学校施設の利用を容易にさせ、利用上の利便性向上



千早赤阪村・郷土資料館

社会教育について

を図るため、施設の改修、必要な施策を講じるようにうたわれているが、どう考えているのか。

答 まずは施設の整備が必要であると考えている。

問 生涯学習の場、歴史社会勉強の場としての郷土歴史館の設置を。

答 公共施設の再編整備計画との整合を図り、具体的に検討して行く。

問 芹生谷遺跡発掘調査

が行われた。その資料の公開や展示、保存は。

答 大型商業施設建設に伴い、調査を実施し、3基の古墳が発見され、土器や鉄器、玉などが出土した。内容は現在まとめでおり、来年度、展示する。石室は商業施設駐車

場で埋没保存され説明版を設置してもらっている。

問 旧河内幼稚園跡地に保存されている、埋蔵品の管理は。

答 コンテナ保管となっている。

シリーズ



19

—その道の達人から学ぶ—

なにわ伝統野菜の マイスター

阪上 勝彦さん（今堂）



今回は、道の駅かなんの
駅長として、また、なにわ
伝統野菜の特産物マイスタ
ーの阪上勝彦さんを紹介
します。

なにわ伝統野菜は毛馬胡
瓜や勝間南瓜などが有名
で、阪上さんは平成10年
から生産に取り組んでこ
れました。

また、これらを販売する
道の駅では、駅長としてテ
レビやラジオなど数々のメ
ディアに出演され、PRを
積極的に行われています。

なにわ伝統野菜の生産
は、消費者のニーズが高い
と言う事で始められました
が、当初は、まず種を入手
することが困難で、次にそ
の種を植える時期、収穫適
時がどのタイミングで行う
か解らず苦労し、化学肥料
との相性が合わないのど土
作りから始める事も必要
だったそうです。けれど
も、「なにわ伝統野菜を買
えることができるのは、河
南町の道の駅だけ」と現在
では、店の顔としてのウリ

で、宣伝されています。

なにわ伝統野菜は伝統
の野菜であるがゆえ、生
根神社（勝間南瓜・こつ
ま南瓜祭り）や天王寺（天
王寺蕪・天王寺蕪収穫
祭）など各野菜の発祥地
で開催される伝統行事復
活のための、役割を果た
すこともあり、なにわ伝
統野菜栽培のために栽培
指導も現在行われています。

道の駅の直売所では、
「農家が自ら経営する直
売所」として、河南町で
生産されたものを河南町
で消費する、地産地消を
目指した経営を行い、遊
休農地の有効利用や農家
の後継者対策に取り組ん
でおられ、この活動も今
後続けられるそうです。



4月28日 大阪府に 歩道設置 を要望

町の北の玄関口である
太子南交差点から東山橋
までの区間（府道柏駒線）
に歩道がないことで地元
住民から河南町議会に歩
道設置の要望が寄せられ
ました。

河南町議会でも予てよ
り危惧していたこともあ
り、河南町議会を代表し、
浅岡幸晴議長が早期歩道
設置の要望を大阪府富田
林土木事務所に提出し
ました。



3月11日 2会派 合同研修

かなんクラブと日本共
産党の議員7人は、岡山
県真庭市を視察しました。
真庭市のバイオマスの
取り組みにつき研修を受
け、バイオマス事業を軸
に、住民が互いに支え合
う社会の構築を目指す施
策の展開に、参加議員は
熱心に質問などを行い相
互の親交を深めました。

4月
21・22日

リベラルの会 研修

リベラルの会の3人は、
神奈川県秦野市と葉山町
を視察しました。

秦野市では「公共施設
の再配置」の進め方につ
いて、葉山町では「開か
れた議会」について研修
を受けました。インタ
ーネット中継や傍聴者にわ
かりやすい委員会運営の
方法などについて、活発
な意見交換を行いました。

5月27・28日

第39回 町村議会議長・ 副議長研修

場 所…メルパルクホ
ール（東京）
参加者…浅岡幸晴議長
村元保男副議長

定例会の日程

平成26年第2回定例
会を、次の日程（予定）
で開催します。

町政を身近に知れる
よい機会ですので、ぜひ
傍聴にお越しください。

6月4日 開 会
6月26日 一般質問
6月27日 閉 会

※日程は変更になる場
合があります。（ご確
認は議会事務局まで）